

2020年度「書物との出会い イ（近代ヨーロッパと現代）」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容 (1) 書誌情報 / (2) その本が関連する学問領域 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 数が大きいほど難易度が高い / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

- (1) I. ウォーラーステイン (川北稔訳) 『近代世界システム (1) - 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立-』名古屋大学出版会、2013年、5184円、ISBN: 9784815807436
- (2) 学問領域: 世界史
- (3) キーワード: 近代の西欧、地中海、東欧、世界経済、中核と半辺境・辺境
- (4) 難易度: 2
- (5) ヨーロッパがいかにして近代化に成功したかを、「世界経済システム」をキーワードにして論じた書です。「近代化」といえば、私たちが思い起こすのは、イギリスの産業革命ですが、本書ではそれ以前の時代にさかのぼって「近代化」を考察しています。
- (6) 推薦者: 唐澤晃一 (教育学部)

- (1) 川北稔 (2018年) 『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書、840円、ISBN: 4005002765
- (2) 学問領域: 世界史
- (3) キーワード: 砂糖、カリブ海、プランテーション、三角貿易、植民地
- (4) 難易度: 1
- (5) 砂糖は、近代では、茶や綿織物とならぶ「世界商品」でした。この砂糖をキーワードにして、近代化について説明した書です。カリブ海での砂糖栽培によって富を築いたイギリスの商人階級が、やがて産業革命の原動力となったことが論じられています。
- (6) 推薦者: 唐澤晃一 (教育学部)

- (1) 奥西孝至ほか編 (2010年) 『西洋経済史』有斐閣アルマ、2010年、2300円、ISBN: 978641124042
- (2) 学問領域: 経済史
- (3) キーワード: 経済史、ヨーロッパ、工業化、産業革命、世界経済
- (4) 難易度: 2
- (5) 中世から現代までのヨーロッパ経済の発展について解説しています。歴史学からみた「近代化」について学ぶうえで、経済史の理解は重要です。この本は、ヨーロッパの経済史を学ぶうえで、基本的な知識を与えてくれるでしょう。産業革命について、図を用いながら具体的に説明しているほか、なぜヨーロッパが最初に工業化に成功したかを、分かりやすく説明しています。
- (6) 推薦者: 唐澤晃一 (教育学部)

- (1) 魯迅 (竹内好訳) (2016年) 『阿Q正伝・狂人日記 他十二編 (呐喊)』岩波文庫、734円、ISBN: 9784003202524
- (2) 学問領域: 文学、社会学
- (3) キーワード: 魯迅、呐喊 (とっかん)、近代中国、封建社会、社会変革
- (4) 難易度: 1
- (5) 日本でも愛読者の多い魯迅の代表的な短編小説集であり、現実描写とユーモア満載の創作手法は特徴的である。「狂人」、「阿Q」などの人物を描くことによって、近代中国社会の救いがたい病根とは何かを問いかける。
- (6) 推薦者: 張曉紅 (経済学部)

- (1) 川島真 (2010 年) 『近代国家への模索 1894-1925』(シリーズ中国近現代史②) 岩波新書、929 円、ISBN : 9784004312505
- (2) 学問領域 : 歴史学、社会学
- (3) キーワード : 近代国家、清王朝、辛亥革命、中華民国、割拠
- (4) 難易度 : 2
- (5) 近代中国は諸列強に侵略される半植民地国家と化した。しかし「近代化」が西欧諸国からアジアに伝わってくる過程において中国の「知識人・有志」は日本と同じように「救国」について悩み、近代化への道を模索していた。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 原田敬一 (2007 年) 『日清・日露戦争』(シリーズ日本近現代史③) 岩波新書、886 円、ISBN : 9784004310440
- (2) 学問領域 : 歴史学、社会学
- (3) キーワード : 日清・日露戦争、朝鮮、明治、日本帝国
- (4) 難易度 : 2
- (5) 近代日本は、日清・日露戦争から始まった戦争によって東アジアを植民地にし、帝国にのし上がった。両戦争は東アジアの新秩序を形成した。日中韓の歴史認識をめぐる対立の原点はそこにあったかもしれない。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 松本健一 (2008 年) 『近代アジア精神史の試み』岩波書店 (岩波現代文庫 社会 158)、1100 円、ISBN : 9784006031589
- (2) 学問領域 : 社会学、歴史学
- (3) キーワード : アジアの共時性、脱亜入欧、共存共栄
- (4) 難易度 : 3
- (5) 本書は近代から今日に至るアジア諸国の歩みを精神史の視点からそれぞれの特徴を明らかにした。アジアの近代形成のみならず、今日のアジアの繁栄・競争・対立を正當に評価するために欠かせない視点も提示してくれる。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 阿部謹也 (2007 年) 『近代化と世間』、朝日新聞社、704 円、ISBN:9784022618115
- (2) 学問領域 : 歴史学、民俗学、社会学、法学
- (3) キーワード : 大学、世間、歴史
- (4) 難易度 : 1
- (5) 大学で学ぶということ自体の意味を歴史的に考え、学習を日本でおこなう意味を批判的に論じている。ゲーテは「脚の下を掘れ、そこに泉が湧く」と述べているが、まさしく本書はそのようなものである。香川大学を含む大学教育の劣化を反省したい諸氏に推薦する。
- (6) 推薦者 : 山本陽一 (法学部)

- (1) トマス・ホップズ (永井道雄・上田邦義訳) (2009 年、原著は 1651 年) 『リヴァイアサン 1』、中央公論社、1980 円、ISBN: 9784121601070
- (2) 学問領域 : 哲学、政治学、法学、歴史学、倫理学
- (3) キーワード : 国家、道徳、法律
- (4) 難易度 : 3
- (5) 一般に政治学の古典といわれるが、根本的には、世界を疑い自分で考えることをデカルトやベーコンと並んで実践した本。近代化という日本人にとっては避けがたい課題を原初の形態において示す。本書は、レトリックを駆使して後世の人間を近代へと誘惑する。
- (6) 推薦者 : 山本陽一 (法学部)

- (1) 長尾龍一 (1994年) 『リヴァイアサン』 講談社、絶版、ISBN:9784061591400
- (2) 学問領域：法学、思想史、政治学、歴史学
- (3) キーワード：国家、ホッブズ、ケルゼン、シュミット
- (4) 難易度：2
- (5) 近代国家を相対化することで、わたしたちの生きる世界を相対化してみせる稀有の書。微細な行論のなかに真理の輝きがある。その意味ですきがなく、にもかかわらず、遊び心を感じさせる。およそ知をもって立たんとする人間の姿が眼前にそびえるのを見るだろう。
- (6) 山本陽一 (法学部)

- (1) 御子柴義之 (2015年) 『自分で考える勇気 カント哲学入門』、岩波ジュニア新書、907円、ISBN：9784005007981
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード：理性、批判、自律、啓蒙
- (4) 難易度：1
- (5) 「カントの原典にいきなり挑戦するのはちょっと…」と思っているみなさんに、まず読んでもらいたい一冊。身近な出来事とのつながりで、カント哲学のエッセンスと「自分で考えること」の大切さを教えてくれる。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 石川文康 (1995年) 『カント入門』、ちくま新書、907円、ISBN：978-4480056290
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード：理性、批判、認識、道徳、美
- (4) 難易度1
- (5) 理性自体に人間を欺く可能性がある—このショッキングな事実の発見こそがカント哲学の出発点だとして、そこから著者はカント哲学の全体像を読み解いていく。本書を読むと、哲学もまたドラマチックな展開を持っているということがよくわかる。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) カント(中山元訳) (2012年) 『道徳形而上学の基礎づけ』、光文社古典新訳文庫、1188円、ISBN:9784334752521
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード：人間の尊厳、道徳、理性、義務、善い／悪い
- (4) 難易度3
- (5) 多くの事例に基づいて、善い／悪いとは何か、人間が守るべき道徳の原則とは何か、といった問題について読者に考えさせる倫理学の古典。正直、寝転がって読めるような簡単な本ではないが、この文庫には非常に詳しい解説があるので、そちらを参考にしながら読み進めてほしい。「人間の尊厳」を考える上で、現代でもたびたび引き合いに出される書物なので、大学生のうちにぜひチャレンジしてください。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 辻村みよ子 (2013年) 『人権をめぐる一五講』、岩波現代全書、2640円、ISBN：9784000291170
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、法学、社会学
- (3) キーワード：人権、多文化主義、フェミニズム、表現の自由、平和と安全
- (4) 難易度2
- (5) 「人権の保障」という考えは、現代において誰もが認めるべき前提になっているように思える。しかし本書を読み、事例に即して考えてみると、「人権の保障」が、個別の権利や利害同士が衝突する非常に難しいテーマであることが分かる。本書は具体的な事例が豊富で、自分の関心のある考察の糸口がきっと見つかるはず。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 辻村みよ子 (2012年) 『代理母出産を考える』、岩波ジュニア新書、902円、ISBN : 9784005007226
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、法学、社会学
- (3) キーワード : 人権、代理出産、生殖に関する権利 (リプロダクティブ・ライツ)、生殖ビジネス
- (4) 難易度 1
- (5) 現代の生殖補助医療の進歩は目覚ましい。カップルの精子と卵子とを受精させて、第三者の女性 (代理母) が代わりに出産することも可能になり、多くの人に希望を与えている。一方で、代理母の抱えるリスク、生まれてくる子どもの心理的負担も指摘されている。こういった状況の中で「産む権利」を主張することがどこまで許されるのか。本書では憲法学、人権論の立場からこの問題に取り組んできた著者が、問題の構造を分かりやすく解説。「生殖に関する権利 (リプロダクティブ・ライツ)」に関する入門書の中でも一押し。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) J・S・ミル (斎藤悦則訳) (2012年) 『自由論』光文社、1145円、ISBN : 9784334752507
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、歴史学
- (3) キーワード : 自由、功利主義、幸福、権利
- (4) 難易度 2
- (5) 功利主義の立場から自由を最大限に認めあうことが個人にとっても社会にとっても有益であることを論じた本。「自由」について考えるための最も基本になる必読の名著である。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) J・S・ミル (朱牟田夏雄訳) (1960年) 『ミル自伝』岩波文庫、絶版、ISBN : 9784003411681
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、文学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 功利主義、幸福、教育
- (4) 難易度 2
- (5) 自分の人生を誠実に振り返って書かれた最良の自伝の一つ。他分野にわたり大きな業績を残したミルの入門書としても役立つ。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) 直江清隆・越智貢 (編) (2012年) 『自由とは』 (高校倫理からの哲学4) 岩波書店、1620円、ISBN : 9784000285445
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 自由、運命、社会、必然性
- (4) 難易度 2
- (5) 自由の多義性を、対立項をはっきりさせることで明示し、それぞれ身近なところから、どのような問題があるのかを明示して考えさせてくれる。少しずつ考えながら読むことをすすめる。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

2020 年度「書物との出会い（口）」（男と女）リーディングリスト

*各項目に含まれる内容 (1) 書誌情報 / (2) その本が関連する学問領域 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 0~3まで (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

- (1) 若桑みどり (2003) 『お姫様とジェンダー』ちくま新書、740 円、ISBN-10 : 4480061150
- (2) 学問領域 : 社会学、ジェンダー・スタディーズ
- (3) キーワード : ジェンダー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫、シンデレラ、眠り姫などのディズニーアニメをジェンダーの視点から読み解く。筆者の授業を受けた学生の感想も掲載されており、この本を読み終えた後には、これまでとは異なったディズニーアニメの見方ができるようになっているはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 本橋哲也 (2015) 『ディズニー・プリンセスのゆくえ』ナカニシヤ出版、2160 円、ISBN-10: 4779510589
- (2) 学問領域 : 社会学、カルチュラル・スタディーズ
- (3) キーワード : ディズニー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫やシンデレラといったディズニーアニメから、近年の実写版シンデレラやマレフィセントまでを題材として扱い、カルチュラル・スタディーズの側面からディズニー・プリンセスについて考察した本。上記の『お姫様とジェンダー』と比較してみるとそれぞれの視点が際立って面白い。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 伊藤公雄・牟田和恵編 (2015) 『ジェンダーで学ぶ社会学 (全訂新版)』世界思想社、1,944 円、ISBN : 4790716686
- (2) 学問領域 : 社会学
- (3) キーワード : ジェンダー、社会学
- (4) 難易度 2
- (5) 「育つ」「学ぶ」からはじまり「シェーカツする」「愛する」「ケアする」等、この本ではトピックごとにジェンダーについて学ぶことができる。社会学領域におけるジェンダー論の基本はもちろんのこと、変化球も組み込まれており、何かしらの新しい視点を提示してくれるはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 井上俊・伊藤公雄編 (2010)『社会学ベーシックス第5巻 近代家族とジェンダー』世界思想社、2,160 円、ISBN: 978-4790714491
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：近代家族、ジェンダー、フェミニズム
- (4) 難易度 2
- (5) 社会学がこれまで蓄積してきた知的成果を基本文献の解題という形でまとめたシリーズの 1 冊で、近代家族やジェンダーについて学ぶことができる。取り上げられた文献はその歴史的意義や現在の評価を考慮して選ばれており、文献解題は、内容の解説、著者のパーソナル・ヒストリーに関するスケッチ、学説史上の背景や意義の 3 セクションから成る。近代家族のゆくえ、ジェンダーという視座、いずれも基本文献に触れることで学ぶことは多い。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 上野千鶴子 (2010)『女ざらいーニッポンのミソジニー』紀伊国屋書店、1,620 円、ISBN:978-4-314-01069-6
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：ミソジニー、性の二重基準、自己嫌悪、現代社会
- (4) 難易度 3
- (5) 男性にとっての「女性嫌悪」、女性にとっての「自己嫌悪」に着目して、様々な角度から現代社会を解説しながら、「男社会」の現実を解剖していく書である。ジェンダー研究のパイオニアとされる著者が、「どんなに不快であれ、そこから目をそむけてはならない現実」として書き継ぎ、「それを知ることによって、それがどんなに困難でも、その現実を変えられる可能性がある」とし、「共感も反感も含めて、本書には波紋を拡げてほしい」と言っている。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 水無田気流 (2015)『「居場所」のない男、「時間」のない女』日本経済新聞出版社、1,404 円、ISBN : 978-4-532-16955-8
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：近代家族、男性問題、ワークライフバランス、サラリーマン家庭
- (4) 難易度 2
- (5) 現代の日本人男性は、仕事以外の人生の選択肢に乏しく「世界一孤独」とされ、日本人女性は、婚活・妊活などのタイムリミットに追われ続けて自分の時間が確保できない状況におかれている。サラリーマンの夫と妻という現代の家族のありように、本当に幸福なのかと疑問を投げかけ、男女ともに幸福になるための方法論を展開している。現在の気鋭の社会学者による書であり、かなり個性が強いので、十分に読み込んだ上でしっかり反論してもらいたい。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 長谷川まゆ帆 (2007) 『女と男と子どもの近代 (世界史リブレット)』 山川出版社、787 円、ISBN-13 : 978-4634348905
- (2) 学問領域 : 社会史
- (3) キーワード : 家族史、ジェンダー
- (4) 難易度 2
- (5) 19 世紀以降に理想とされてきた女と男と子どもの関係は、それ以前から形づくられてきた、人間の感じ考えるその仕方や、社会的結合関係に、すでにその萌芽が埋め込まれていた。本書では、16~18 世紀の、とくにフランスで見られた変化に光をあてながら、近代社会を再考していく。
- (6) 推薦者 : 村上弥生 (男女共同参画推進室)

- (1) 柳田國男 (2013) 『妹の力』 角川ソフィア文庫、802 円、ISBN-13: 978-4044083168
- (2) 学問領域 : 民俗学
- (3) キーワード : 民俗学、柳田國男、女性
- (4) 難易度 3
- (5) かつて女性には神秘の力があるとされ、祭祀を取り仕切り、信仰の対象にもなっていた。女性に託されていたものとはなにか。全国の民間伝承や神話などを丹念に検証し、担っていた役割を明らかにした。「遠野物語」で有名な柳田の女性の力についての著作集。
- (6) 推薦者 : 村上弥生 (男女共同参画推進室)

- (1) 柳田國男 (1993) 『明治大正史 世相篇 新装版』 講談社学術文庫、1,490 円、ISBN-13 : 978-4061590823
- (2) 学問領域 : 民俗学
- (3) キーワード : 柳田國男、生活史
- (4) 難易度 3
- (5) 「毎日われわれの眼前に出ては消える事実のみによって、立派に歴史は書けるものだ」という著者が、明治大正の日本人の暮らし方、生き方を、民俗学的方法によって描き出した画期的な世相史。このような社会の変化の中で男と女の関係性も変化していくことを考えてほしい。
- (6) 推薦者 : 村上弥生 (男女共同参画推進室)

- (1) 池上俊一 (2001) 『身体の中世』 筑摩書房、1,500 円、ISBN : 4-480-08666-8
- (2) 学問領域 : 歴史学 (西洋史)
- (3) キーワード : 身体、表象、感性、人間観
- (4) 難易度 3
- (5) 西洋中世社会における人間や人間の身体、あるいは目や耳など人間を構成する様々な部位等に対する認識のあり方、または人間の表情やしぐさのあり方について広く考察したものである。本書は「男と女」の論点にとどまらず広い視野で論が展開しているが、講義内容をふまえて「男と女」の視点から読み解くことで、様々な角度から「男と女」がどう認識されてきたか、理解を深めることができる。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

- (1) 網野善彦 (2005) 『中世の非人と遊女』 講談社学術文庫 1,037 円、ISBN : 978-4-06-159694-8
- (2) 学問領域 : 歴史学 (日本史)
- (3) キーワード : 心性、女性、差別、人間観、社会観
- (4) 難易度 3
- (5) 日本の歴史学が農業、とくに水田を軸とした社会の分析に力点を注いできたことに対し批判的な立場をとりつつ、職人などの非農業民や女性のあり方を考察してその歴史的 position について論じている。とくに、日本列島における「差別」意識の歴史的あり方やその変化のあり方について踏み込んだ検討をしておき、そうした問題について理解を深めるきっかけになるだろう。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

- (1) ルイス・フロイス著／岡田章雄訳注 『ヨーロッパ文化と日本文化』 岩波文庫、1991 年、ISBN : 9784003345917
- (2) 学問領域 : 歴史学 (日本史・西洋史)
- (3) キーワード : 比較文化史 (ヨーロッパ文化と日本文化)、心性、女性、男性、人間観、社会観
- (4) 難易度 3
- (5) 16 世紀後半の戦国時代に日本にやってきたポルトガル人宣教師が、実際に戦国時代の日本列島を歩き回って得た日本文化の見聞録とヨーロッパ文化との比較論 (邦訳版) である。外国人の客観的な目で見えた戦国時代の日本文化に対する新鮮な驚きと同時期のヨーロッパ文化との比較論は、現代人にも大きな驚きを与え、男女の問題のみならず社会のあり方について深く考えさせられる。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)
※<https://drive.google.com/drive/folders/0BwKDiFsI0pm4dXF0dVhTV05YbG8> より参照 (ダウンロード可)

- (1) 白川静 (1970) 『詩経』 中央公論新社、924 円、ISBN-13 : 978-4121002204
- (2) 学問領域 : 中国文学
- (3) キーワード : 中国原始社会、古典、詩
- (4) 難易度 2
- (5) 中国現存最古の詩集『詩経』を、伝統的な儒教の注釈にとらわれずに解釈しようとした書である。『詩経』収録の詩に現れている中国原始社会における男女観を、儒教的な解釈が確立する前の原義に立ち返って考えるうえで参考になる。
- (6) 推薦者 : 古橋紀宏 (教育学部)

- (1) 司馬遷著／小竹文夫・小竹武夫訳 (1995) 『史記 (1) 本紀』 筑摩書房、1,540 円、ISBN-13 : 978-4480082015
- (2) 学問領域 : 歴史学 (中国史)
- (3) キーワード : 中国古代、伝説、歴史
- (4) 難易度 2
- (5) 前漢の司馬遷が編纂した『史記』のうち、帝王の歴史を記した本紀の部分の訳である。伝説上の帝王から、前漢の武帝に至るまでの通史を記述する。そこには、様々な女性が登場し、中国古代史における女性の地位を知ることができる。
- (6) 推薦者 : 古橋紀宏 (教育学部)

- (1) 藤川正数 (1993) 『礼の話』 明德出版社、2,030 円、ISBN : 4896191196
- (2) 学問領域 : 中国思想
- (3) キーワード : 儒教、礼、制度、作法
- (4) 難易度 3
- (5) 漢代以降の東アジア社会に大きな影響を及ぼしたのが儒教である。儒教において、国家の制度から日常の儀式・作法に至るまでの様々な規範に関わる領域が、「礼」である。その「礼」において、男と女がどのように扱われてきたかを理解することができる。
- (6) 推薦者 : 古橋紀宏 (教育学部)

2020 書物との出会い—学問することの喜びハ「視ることと読むこと」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容 (1) 書誌情報／(2) その本が関連する学問領域／(3) キーワード：その本が関連するテーマなど／(4) 本の難易度：数が大きいほど難易度が高い／(5) 推薦した教員のコメント／(6) 推薦者の名前、所属

*【e-Book】の表示があるものは、大学図書館のサイトで閲覧することができます。

- (1) 白倉伸一郎 (2004 年)『ヒーローと正義』子どもの未来社、絶版、ISBN:9784901330428
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：特撮ヒーロー、正義、プロデューサー
- (4) 難易度 1
- (5) 「特撮ヒーロー番組なんて、所詮子どもだましでしょ」なんてあなたが思っているのだとしたら大間違い！特撮ヒーロー番組の見え方だけでなく、「社会」の見え方も変わってしまう、推薦者一押しの一冊です。
- (6) 推薦者：葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 鈴木美潮 (2015 年)『昭和特撮文化概論 ヒーローたちの戦いは報われたか』集英社クリエイティブ、1,500 円、ISBN:9784420310710
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：特撮ヒーロー、時代と世相、新聞記者
- (4) 難易度 2
- (5) 特撮ヒーロー番組に時代と世相が如実に反映されていることがよくわかります。特撮ヒーロー番組に限らず、その背景まで理解することによって見え方が変わることを (改めて) 気づかせてくれる一冊です。
- (6) 推薦者：葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 宇野常寛 (2011 年)『リトル・ピープルの時代』幻冬舎、907 円 (文庫)、ISBN:9784344423244
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：村上春樹、仮面ライダー、震災、現代社会論、評論家
- (4) 難易度 3
- (5) 特撮ヒーロー番組 (特に仮面ライダー) について、戦後日本の変貌との関連から「大真面目に」論じている一冊。「こんな風に解釈することができるのか！」と思わず唸らされること間違いありません。質的にも量的にも (600 頁弱) 読み応え十分です。
- (6) 推薦者：葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 斎藤美奈子(2001年)『紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像ー』筑摩書房、842円(文庫)、ISBN:9784480036667
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:アニメ、特撮、ジェンダー
- (4) 難易度:2
- (5) 特撮ヒーロー番組だけでなく、アニメ番組のヒロインがどのように描かれているのかがよくわかる一冊です。アニメ番組には女兒向けのものも多く取り上げられているので、女子学生には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 須川亜紀子(2013年)『少女と魔法ーガールヒーローはいかに受容されたのかー』NTT出版、4104円、ISBN:9784757143098
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:魔法少女、ジェンダー
- (4) 難易度:3
- (5) いわゆる「魔法少女」モノのヒロインがどのように描かれているのかを分析した一冊です。少し難しく感じるかもしれませんが、プリキュアシリーズまで網羅されているので、好きな学生(女子学生に限りません)には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

(1) 大石繁宏 (2009 年) 『幸せを科学する 心理学からわかったこと』新曜社、2,400 円、ISBN: 9784788511545

(2) 学問領域：社会心理学、哲学

(3) キーワード：幸福感、幸福観文化差

(4) 難易度：1

(5) 幸せとは何か、人は何をもって幸せと感ずるのかを、心理学的実証研究に基づいて論じた本。アリストテレス、孔子、バーナード・ショウといった数多くの哲学者や小説家の思想から最新の科学的研究論文に至るまで、時代や文化を切り口に、幸福観の違いについて述べている。

(6) 推薦者：ウィリアムズ厚子 (大学教育基盤センター)

(1) 藤澤伸介 (2011 年) 『言語力 認知と意味の心理学』新曜社、2,400 円、ISBN: 9784877512306

(2) 学問領域：心理言語学

(3) キーワード：言語、意味、認知、生きる力

(4) 難易度：2

(5) 言語の使い方が、ものの見方や心の持ち方にどのように影響するかを様々な社会的な現象を分析しながら説いた本。言語の特質を知ること、物事の本質を見る力を養い、「生きる力」をつけるための手助けをしてくれる。

(6) 推薦者：ウィリアムズ厚子 (大学教育基盤センター)

(1) リチャード・E・ニスベット (2004 年) 『木を見る西洋人 森を見る東洋人 思考の違いはいかにして生まれるか』ダイヤモンド社、2,000 円、ISBN: 4478910189

(2) 学問領域：社会心理学、文化人類学

(3) キーワード：認知科学、文脈、論理

(4) 難易度：3

(5) 認知プロセスがいかに社会の構造や人間観と一致しているかを、多くのデータとその科学的分析により解明した本。主として中国・韓国・日本を指す東アジアの人々と、ヨーロッパ・アメリカ・旧イギリス連邦の人々を指す西洋人は、言語習得、問題解決、出来事のとらえ方、さらには学術の発展においても、明確な思考の違いがあることがわかる。グローバル社会を生きる上での示唆に富んだ内容である。

(6) 推薦者：ウィリアムズ厚子 (大学教育基盤センター)

- (1) ファン・ヘネップ (綾部恒雄・綾部裕子訳) (2012 年) 『通過儀礼』 岩波文庫. 絶版. ISBN: 978-4003421918
- (2) 学問領域: 文化人類学、民俗学
- (3) キーワード: 通過儀礼、加入礼、分離・過渡・統合、
- (4) 難易度 2
- (5) 誕生から死までの折々の儀礼、加入礼などが初めて体系的に論じられた人類学の古典。大人になるには通過儀礼 (分離・過渡・統合のプロセス) が必要です。皆さんにとって通過儀礼とは?
- (6) 推薦者: 小山智朗 (保健管理センター)

- (1) 河合隼雄 (1971 年) 『コンプレックス』 岩波新書. 902 円. ISBN : 978-4004120735
- (2) 学問領域: 臨床心理学、分析心理学
- (3) キーワード: ユング、コンプレックス、自我
- (4) 難易度 1
- (5) 河合隼雄氏の本は、深いのに読みやすく、古い (約 50 年前) のに新しい。コンプレックスは単にネガティブなものではなく、成長の起爆剤になる可能性を秘めています。では一体どうすれば!?
- (6) 推薦者: 小山智朗 (保健管理センター)

- (1) 中井久夫 (2004 年) 『徴候・記憶・外傷』 みすず書房. 絶版. ISBN : 978-4622070740
- (2) 学問領域: 精神医学、心理学、文学、哲学
- (3) キーワード: 記憶、トラウマ、統合失調症
- (4) 難易度 2
- (5) 人間の根源的な能力ともいえる「記憶」にどのような意味があるのかを問うもの。中井久夫氏の本は、恐ろしく密度が濃く、深い考察が繰り広げられます。頭の芯が痺れるような知的体験をしたい方にはお勧め!
- (6) 推薦者: 小山智朗 (保健管理センター)

- (1) 大塚英志 (2016年)『感情化する社会』太田出版、1500円、ISBN:9784778315368
- (2) 学問領域：文芸批評、文化論
- (3) キーワード：天皇、感情、スクールカースト、LINE、AI
- (4) 難易度1
- (5) ネットに人々が「感情」表現らしきものを行うようになった結果、なぜかそれが画一化された「労働」じみてきている。現実社会でも我々の「感情」自体が何か奉仕させられているようだ。このことは天皇制や学校のあり方にも関係あるらしい。そんな見方で現代社会を批判的に捉えた文化論。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)

- (1) カール・マルクス (金塚貞文訳) (2012年)『共産主義者宣言』平凡社、1100円、ISBN:9784582767667
【e-Book】
- (2) 学問領域：社会思想
- (3) キーワード：共産主義、プロレタリアート、ブルジョアジー
- (4) 難易度3
- (5) 本書が書かれたとき日本はまだ江戸時代。共産主義というと全体主義的な官僚国家が想起されるかも知れないが、本書にはそんな印象はない。マルクスが言いたいのは、人類の歴史は資本主義の歴史ではなく、階級闘争の歴史だということである。階級闘争とともに共産主義者もいつも姿を変えてあられ、いまもいる。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)

- (1) 坂口安吾 (2008年)『墮落論・日本文化私観 他二十二篇』岩波書店、983円、ISBN:9784003118214
- (2) 学問領域：文芸批評、文化論
- (3) キーワード：戦争、文化、墮落
- (4) 難易度3
- (5) 「法隆寺をとりこわして駐車場をつくるがいい」、「戦争に負けたから墮ちるのではないのだ。人間だから墮ちるのであり、生きているから墮ちるだけだ」という安吾の言葉に、焼け野原に立つ日本人が勇気づけられたという。生きることが、働くことでも遊ぶことでもなく、墮落であると言い切る覚悟は大変なもので、青春時代の必読書だと思う。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)

- (1) 柳宗悦(1985年)『手仕事の日本』岩波書店、990円(文庫)924円(Kindle)、ISBN:978-4003316924
- (2) 学問領域:民俗学、哲学
- (3) キーワード:民藝品、日本文化、伝統
- (4) 難易度:1
- (5) 「民藝」の父、柳宗悦が若者のために著した日本を旅する一冊。全国各地の民芸品を訪れ、かわいらしい挿絵とともに紹介が続く。読後は民芸品を探しに行きたくなります。『民藝の日本』とセットでぜひ。
- (6) 推薦者:大村隆史(地域連携・生涯学習センター)

- (1) 志賀直邦(2016年)『民藝の歴史』筑摩書房、1,430円、ISBN:978-4480097347
- (2) 学問領域:芸術、社会学
- (3) キーワード:民藝運動、歴史
- (4) 難易度:2
- (5) 「民藝」が生まれた社会と経済に生きた人物たちはどのような関係を築いてきたのか。人物関係史的に「民藝」を読み解く一冊といえます。
- (6) 推薦者:大村隆史(地域連携・生涯学習センター)

- (1) リチャード・セネット(高橋 勇夫 訳)(2016年)『クラフツマン:作ることは考えることである』、筑摩書房、4,400円、ISBN:978-4480864451
- (2) 学問領域:社会学、哲学
- (3) キーワード:手仕事、職人氣質
- (4) 難易度:3
- (5) 丁寧な手仕事の意味と意義を考える一冊です。古代の煉瓦職人からヴァイオリンづくりの作業場、現代のLinuxプログラマーまで、西洋の職人的技能に関する考察を通じて、その現代的な意義を探ります。
- (6) 推薦者:大村隆史(地域連携・生涯学習センター)

- (1) 熊倉純子監修 (2014年) 『アートプロジェクト：芸術と共創する社会』水曜社、3520円、ISBN：9784880653334
- (2) 学問領域：美学、社会学
- (3) キーワード：アートプロジェクト、アートと社会
- (4) 難易度：1
- (5) 近年、様々な場所で展開されているアートプロジェクト。本書では、アートプロジェクトの定義、「前史」と変遷、そして様々な事例等を、写真も掲載しながら、分かりやすく説明している。
- (6) 推薦者：小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 藤田直哉編 (2016年) 『地域アート：美学／制度／日本』堀之内出版、2700円、ISBN：9784906708550
- (2) 学問領域：美学、社会学
- (3) キーワード：地域アート、批評
- (4) 難易度：2
- (5) 「地域アート」とは、地方を舞台にしたアートフェスティバルのことである。本書では主に、様々な地域アートが乱立している社会現象を批評的あるいは批判的に捉えて論じている。
- (6) 推薦者：小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 宮本結佳 (2018年) 『アートと地域づくりの社会学：直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造』昭和堂、4536円、ISBN：9784812217337
- (2) 学問領域：社会学、美学
- (3) キーワード：地域社会、持続可能なアートプロジェクト
- (4) 難易度：3
- (5) 地域社会とアートプロジェクト双方により呈された疑問を整理し、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」や「瀬戸内国際芸術祭」の舞台を事例にして、持続可能なアートプロジェクトの展開可能性を示している。
- (6) 推薦者：小坂有資 (大学教育基盤センター)